

2020年4月11日 アップデート with バリー・スタグナー牧師

アミール・ツアルファティ

- 世界中で起こっていることを聖書預言に関連付けて語る -

<https://youtu.be/rXWe897YlzE>

バリー牧師: よろしくお願ひします。

アミール: こんにちは、バリー。こちらこそ、よろしくお願ひします。

バリー牧師: お時間を取ってくださって、ありがとう。そちらは8時かな？

アミール: そう、8:02ですね。

バリー牧師: 8:02ですか。さて、この1週間にあなたや私が話したことを私は考えていましたが、非常に多くのことが起こるのを見てきました。COVID-19や、他にも、あらゆる所で肯定的なことが起こっています。しかし、私は今日、特筆すべきことを見ました。というか、水曜日か火曜の夜だったと思いますが、私たちはイスラエルを出発して、家路に向かってははずでした。私は、そちらに行き一緒にツアーをすることを、とても楽しみにしていたのですが、皆さんご存じの通り、現在の状況ではリスクが高いですから。しかし今朝、私はガリラヤ湖の防壁の上に水しぶきがかかっている動画を見ました。そして、あなたが見せてくれたハルマゲドンの谷や、散歩に出ている時の写真にも感動しました。緑が多くて、とても美しい。春は、いつも美しいですが、でも、特に今年は雨が多いようですね。そのことについて、お話ししていただけますか？

アミール: そうですね、今年の冬は本当に素晴らしかったです。たくさん雨が降りましたし、ヘルモン山にも雪が降り、まもなく解けて、ガリラヤ湖にも雪解け水が流れます。そのすべてがイスラエルを緑に変えました。実際、緑だけではなく、色とりどりです。ガリラヤ湖は緑豊かで美しいです。それだけではありません。今日も雨が降っています。雨のエピソードは、まだありますが、COVID-19が始まって以来、ガリラヤ湖の水の汲み上げを中止しています。だからガリラヤ湖は、実際には通常のペースよりも早く水位が上昇しています。そして、5月1日までは、ヤルデニットの隣にあるダムほんらんの洗礼地がオープンすると思います。死海に向かうヨルダン川に流れる水を放水します。堤防が氾濫して、ティベリウスの街が洪水になるといけませんから。とても美しいです。私は毎日、外に出ています。と言っても、何かするわけではなくて、ただ、朝一番に外に出て、コーヒーを飲みながら聖書を読みます。私は毎朝、あなたが見た同じ景色を写真に撮っています。毎日、見事で美しいですから。

バリー牧師: ポジティブな話ができるのはよいですね。この国では、今日のニュースで興味深いことが出て来ています。フロリダでは学校の再開が話題になっていて、テキサスでは事業再開の話が出ています。死亡者数と新規症例数が減少しているという、前向きな報告もありました。これは明らかに素晴らしく、感謝なことです。本当に興味深いのは、それについて、あなたもフォローし、話題にしていますが、アミールの『獣のしるしのどれほど近づいているか』の最新動画をまだ見ていない人は、ぜひご覧ください。なぜなら、これは、このCOVID-19の発生とそれに関連した他のすべてのものにつけ込んでいることですから。そして、私たちは不穏ながらも聖書に書かれている通りのことが起こり、預言的な筋書きを前進させるのを、目の当たりにしています。この特定の仕組みを見て、驚くばかりです。これは以前にお話ししたことがあると思います。私たちは、全員知っていました。イスラエルの北の国境に連合軍が来て、その連合軍のあとにかき鉤がかけられ、彼らは下りて来る。しかし、ISISがそれを進めるための仕掛けになるとは、だれが知っていたのでしょうか？そして、これも同じで、いま、COVID-19が世界中に拡散しています。しかし、それが権力者によって利用され、獣のしるしとその性質を持つものの前兆となるものが推し進められています。この手の話の展開を見ていると、本当にすごいことだと思います。

アミール: ええ、私もそう思います。おそらく、将来の予防接種の計画、ID2020のことを言っているのだと思いますが、ええ、絶対、間違いないですね。そして、これはもちろん、おっしゃるとおりです。「獣のしるしに近づいている」という話をしたのは、それがきっかけです。しかし、そのすべてをもってしても、両方が最初に話した、物事が良くなってきているという事実。トンネルの先に光が見えてきていること、それと、ID2020の計画もそうですが、私たちは信者として、それらは前兆に過ぎず、本物ではないことを忘れてはなりません。なぜなら、本物が来たら、私たちはどちらにしろ、ここから出て行きますから。しかし私たちは、後に世界が経験することを垣間見えています。しかし、もしこれでクリスチャンとしての生き方を正そうと思わないのなら、これ以上に、十分強烈なものがあるかどうか、私には分かりません。

バリー牧師: そうですね。興味深いことに、いくつかの統計によると、聖書を読む人が21%増えたそうです。どうやってその統計を集めたのか分かりませんが。しかし、人々が聖書に立ち返っていることを報告している人たちがいます。そして、聖書の売り上げは世界中で増加しています。つまり、神がローマ人への手紙でおっしゃっているように、神がすべてのことを働かせて益としてくださる。そして、人々が聖書に戻って神のみことばを読むことは、良いことだと思います。

さて、お聞きしますが、イスラエルはこのことについていかがですか？テルアビブが、実際に聖句の一節を掲示板に載せるという記事を見たのですが、あの、非常にリベラルな街にしては珍しいですね。

アミール: ええ、主要なショッピングモールには3つの建物があり、1つは四角く、1つは三角で、1つは丸い形をしています。普段は選挙結果などを載せるのですが、そこには申命記6章の一節が載りました。

聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。(申命記6章4節)

そして、イスラエルで最も世俗的な街が、実際にイスラエルの人々に、イスラエルに神がいることを知らせているのです。それとは別にネットを見てみると、コメント欄にたくさん出ているのは、主に中東で起きている出来事に関してです。私は、こんなにたくさんの人々が、こんなことを言うのを初めて見ました。ちなみにテレビ番組で司会をしている芸能人までもが言っているのです。「これらは、すべて神からの贈り物である。私たちが優先順位を再評価、再調整して、私たちの生活に、主なる神を取り入れるために」繰り返しますが、ニューエイジの観点から話す人もいれば、伝統的な観点から話す人もいますが、ユダヤ人やイスラエルの人々は、いま揺さぶられています。これは驚くべき揺さぶりです。ちなみにこれは、世界中で起こっていますよ。私は世界中の人々の動画を見ていますが、ブラジルからインドまで、何百万もの人々が主に立ち返っています。さて、どれだけの効果があるのか、どのくらい本物なのか、ただの宗教的な恐怖心の反応に過ぎないのか、私には分かりません。神がご存じです。でも、そこから多くの実りが見えてくると思いますが、もしかしたら、これが最後の警告なのかもしれません。

バリー牧師: ええ、あなたがツイッターで良い事を言っていましたね。「皆が自己隔離している時に携挙が起きたら面白い。皆、隔離されているから、数日間はだれも分からないだろう」面白い視点ですね。

アミール: つまり、現実を直視しましょう。私たちは、携挙が起こった時の世界中の人々の反応について、多くのシナリオを話してきましたが、世界人口の8割が封鎖されている状況になるとは、だれも思ってもみませんでした。だから、これは興味深いことです。

バリー牧師: 今朝見たのですが、ネタニヤフ首相がフライトや集会の制限が9月まで続く可能性を発表していました。それは、イスラエル人の霊に大きな影響を与えるでしょう。ここに来て、人々がみことばに戻るきっかけになればと願います。

アミール: そうですね。それなりの影響がありそうです。でも、正直なところ、私は悪いことよりも良いことの方が多いと思っています。奇妙に聞こえるかもしれませんが、言っておきます…。人々は、彼らの狂気がなくても、人生が続くことを学びます。祝日は、その狂気なしに祝うことができます。世界は続きます。

でもバリー、言っておきますが、我々には見えないことが起こっています。いわゆる「産みの苦しみの」^{はんちゆう}範疇で、つまり火山とか地震とか、その他で言えば、昨夜、ある事が起こりました。そちらの時間の夕方です。それは何と言うか、私は夜中に目が覚めて、深夜1時、就寝したのは、たぶん12時、夜中です。そして、夜中の1時に目が覚めて、何かとてもとても不思議な感じがしました。そして、地震か何かを経験しているのかどうかも分かりませんでした。何か知らないことがあるのではないかとネットで調べてみると、次のようなことが書かれていました。「ここ数時間で、地球の磁場が、^{ぜんたいみもん}前代未聞の異常事態になっている」その話が延々と続き、話題になっていました。ちなみに、それはNASAのウェブサイトやその他、多くのサイトで確認しています。これらの人々は世俗的な人々ですが、彼らがこう言っているのです。「これは大きな変化の前兆か？」つまり、それはビッグバンから始まり、それがいまは“ビッグチェンジ（大変化）”にある、と。磁場が反転すると考えているのです。そして、「結果は、数時間後か数日後に分かるだろう」ちなみに、それはインドネシア最大の火山の1つの噴火と同時進行していました。しかしポイントは…。私は考えていたのですが、パウロが第1コリント15章で、大きな変化について話しています。

私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。（第1コリント15章51節）

ビッグチェンジは起こります。しかし、それは信者だけです。そして、私はとても興奮して、目が覚めようとした時に、また変なことが起きたのです。夢の中で、妻がネフシュタンのことを話して…。覚えていますか？青銅の蛇です。そして、もちろん私は思い出しました。荒野で疫病がイスラエルの民を襲った時、モーセが青銅の蛇のついた旗ざおを高く上げました。しかし私が忘れていたのは、ヒゼキヤ王が第2列王記18章でそれを破壊するまで、イスラエルの民は、ずっとその青銅の蛇を拜んでいたのです。つまりポイントは、ヨハネ3章14節にあるとおり、青銅の蛇がモーセによって上げられたように、イエスも上げられました。そして、もちろんイエスを信じる者は死ぬことがなく、永遠のいのちを与えられます。だから私が考えているのは、このパンデミックは、私たち全員に高められた本物を見せて、すぐそこに差し迫る大きなものから逃れるように呼びかけているのではないかと？

バリー牧師： ええ、それに先ほどあなたが言っていたように、私も世俗的な地質学者などが言っているのを見ました。「何かが起こっている。何か異常なことが起きている」それ自体が珍しいことなのですが、このような世俗的な組織で働いている人たちが、聖書がずっと以前から述べてきた、これらの事からの進行を認めるのを聞くことは、滅多にありません。そして私たちは、この1年ほどの間、地球磁場の北極点が大きく移動し、GPSシステムの再測定が必要なほど、通常の誤差範囲から外れるのを見てきました。磁場の極点が常に移動するという事は、科学的な事実です。しかし彼らが報告しているのは、それが前代未聞のスピードで移動し、世界中のGPSシステムの再測定を引き起こしているのです。そして、シベリアのどこか、最も遠い地点、あるいは地軸の北極が、磁場の北極点になる。それが、数ヶ月や数週間内に起こる、と。しかし、あなたもよく知り、その教えを高く評価しているチャック・スミス牧師が、長い間、ポールシフト（極点移動）について話していたのです。科学者は、それは徐々に起こり、瞬時には起こらないと言いますが、しかし、もしそうなったら壊滅的なことになるので、一部の人は簡単に認めるでしょう。しかし、私たちは地表と空中で何かが起こることを知っています。イエスが、マタイの福音書24章3節から8節で語られましたから。イエスは戦争や戦争のうわさ、疫病やききんといった通常の生活のことだけでなく、ギリシャ語の「seismos（地震）」という言葉を用いて結論づけられました。つまりこれは、地質学的な出来事に限らず、大気圏での出来事も意味します。強風、嵐、または地球上で起こる何かを意味することもあります。さっき、クラカトア火山のことを言っていましたが、きっと、この記事を見ると面白いと思いますよ。今朝、受け取ったばかりです。何世紀にもわたり、破局的噴火を引き起こす恐れのある活火山がアイスランドにあって、これを研究してきた火山学者によると、アイスランドの名前は、母音を入れずに子音を入れるから発音できませんが、しかし、この地域では、ここ数日で8000回以上の地震が発生しています。しかも、最後の噴火は800年前です。彼らは、過去の噴火の残留物を追跡してきて、その山は約1000年に一度のペースで噴火しています。そして、直近の噴火は300年も続き、それが野生動物や、あらゆるものを崩壊させました。それがいま、地質学者や火山学者が言い始めているのは、噴火がどれほど巨大なものであるかという、爆発的な指標だけではありません。少なくとも、ある地域にとって、これは絶滅レベルかもしれない

と彼らは言っているのです。だから、世俗的な人々が、いわば便乗して、「何かが起こっている」と言っているのを見るのは興味深いです。

アミール: ええ。何かが起こっています。そして私たちは、これらを予測していました。つまり、信者が「産みの苦しみだ!」と言っている時、ローマ人への手紙8章を読むと、すべての被造物が、神の子らが現れるのを切望し、待ち望んでいることが語られています。こういった事は皆・・・言っておきます。私たちの知る世界に別れを告げ、新しい現実慣れてください。そして、イエスに近づくのです!言っておきますが、私たちの出発は、本当にもうすぐです。繰り返しますが、ご存じの通り、私は日付を指定しません。私は絶対に日を定めません。そんなことをするのは愚かです。私たちは、二人とも細心の注意を払っています。しかし言っておきますが、私たちがいま、経験してるような出来事の数々を今まで見たことがありません。それらは本当に完璧で、私たちがここから出て行くところまで来ています。いいですか?もし、これらすべてを見て、あなたが神の存在を思わず、自分はここで何をしているのかと考へないなら、黙示録16章が来ても、あなたは何も感じないでしょう。そして、あなたは実際、神を拝むこともせず、少なくとも悔い改めて、「止めてください」と神に頼みもせず、神の御名を冒瀆するようになるでしょう。つまり、それほどに今の状況が悪いということです。私が思うに、神は、そのあわれみのゆえに…、いいですか。イスラエルはいま、すでにこのすべての終了計画を調べています。もう終わりが見えてきており、トンネルの先に光が見えています。今夜、ネタニヤフが国民に向けて、ハイテク産業や学校などを元通りにすると話しています。ということで、私たちは、これの終わりを見えています。しかし、これで終わりではありません。また、別のことがあります、すごいことになるでしょう。先ほど磁場の移動やそのすべてについての話をしましたが、それは、今まで私たちの世代が見たこともないような一連の出来事を引き起こします。しかし私たちは、驚くべきではありません。だれも驚くべきではないのです。そして、あなたがおっしゃるとおり、これらは始まりに過ぎません。イエスは、これらのことを語られた時に、「これはほんの始まりに過ぎない」と言われました。だから、私は古い世界がなくなってよかったと思います。それと、神の元に立ち返ろうという切迫感があります。そして、私たちは狂った世界を残していきます。狂った世界。そして、もしかしたら物事は良くなるかもしれませんが、私には分かりません。

バリー牧師: そうそう、あなたの言ったフレーズを、私は昨夜の受難日に取り入れましたが、あなたも私も、世界中の素晴らしい人たち、大勢の人々の前で話してきて、その多くは…、私は1月に開催されたダバオでのカンファレンスのことを考えていて、ほら、あの場所は躍動感にあふれ、人々は興奮して神のみことばに取り組んでいました。だれもない礼拝堂で説教するのは、簡単なことではありません。しかし感謝なことに、ネットで見ている人たちがいるのを知っています。ただ昨夜話したことの1つに、あなたが言っていた「新しい日常」というフレーズがあります。私は、それをかつてイエスが創り出された「新しい日常」とつなげていました。主が、死んで墓に入って、死からよみがえられて以来、イエスは人々を変え、滅びの境地から永遠のいのちを待ち望む者へと導き、変化をもたらしています。あなたが先ほど話していたように、私たちは、ここから出て行きます。オリブ山の説教の冒頭でイエスが使われた言葉を見ると、面白いことが分かると思います。歴史の過程で起こった出来事を「産みの苦しみ」にたとえると、女性の分娩の過程は、今まで見てきたような感じで始まりますね。何か動きがあって、こういうことが激しくなっていきます。でも出産に至る激しい分娩の部分は、私たち全員が避けるのです。私たちは御怒りに定められていませんから。そして先ほどもおっしゃっていましたが、面白いのはエジプトの問題で、神が彼らに災いを下された時、第三の災いと第四の災いの間を見ると、主はパロに言われました。「わたしはあなたの民とわたしの民との間に差をつけよう」これからやって来る残りの七つのものは、彼らには近寄らない、と。私たちが今見ていることにも、ちょっとしたヒントがあるのではないかと思います。なぜなら、最初の三つの災いを見れば、それらは不都合なものであって、壊滅的なものではなく、いのちを脅かすものでもなかったのです。しかし、第四の災い以降、状況が変わり、そこから、まさにあなたが先日、イスラエルで祝ったことにつながります。クリスチャンとして認識していることは、血を塗った人たちを、死の御使いが過ぎ越したという事実です。だから、私たちが見て、「ああ、私たちはそこにいるんだ!」と言って、気づくことがたくさんあると思います。ええ、もちろん私たちは、何月何日にそれが起こるとか、そんな愚かなことは言いません。しかし私たちは、イエスに言動を叱責されたパリサイ派のようにもなりたくありません。イエスは彼らに言

われました。「あなたがたは地と空の様子を見分けることを知っていながら、どうして今の時代を見分けようとしませんか」（ルカ12章56節参照）だから、私たちは預言を無視して、そこに仲間入りしたくありません。

アミール: 面白いですね。バリー、2020年は、子どもや孫が、歴史の教科書で勉強することになるでしょう。つまり、私たちは今まさに歴史が書かれている時代に生きているのです。私たちが今経験している、このようなこと、そして言わせてもらえば、私たちがすぐに目撃し、まもなく体験することは、少なくとも私たちが知っている世界が、まだ見たことのないものです。だからこそ、私たちは政府や科学から平安を得ないようにすることが重要なのです。つまり、科学者たちは皆、しくじったのです。現実を直視しましょう。彼らがCOVID-19と思っていたものは、実際とは違っていました。彼らが思っていたのは…、というか、認めましょうよ。だれもその準備をしていませんでした。これを人工的に作った人たちは、これが最終的にどうなるか気づいたかどうか分かりません。しかし私に言えるのは、神が、これを許されたのです。つまり、神はそれを止めることも可能でしたが、許可されたのです。そして、私たちはその理由を理解する必要があります。そして、主がそれをお許しになったのなら、私たちの益となる何かがあるはずだと理解する必要があります。しかし言うておきます。神のみことばに寄りそっていない人、そして、もしあなたが平安や安心、慰めや励みを神のみことばの中の、神の約束から受けていないのなら、もしかしたら、そのために、それらすべてが起こったのかもしれませんが。あなたは間違っただけに頼っていたのかもしれませんが。あなたは収入や銀行口座を頼りにしていたのかもしれませんが。キャリアに頼っていたのかもしれませんが。快適なライフスタイルに頼っていたのかもしれませんが。あなたが何を頼りにしていたのか、私には分かりませんが、ただ、だれもが理解しています。COVID-19は、IQの高い人だけを攻撃していません。特定の年齢以上のの人だけを攻撃しているわけではありません。特定の国の、特定の^{かか}人を攻撃しているのではなく、至るところで、皆を攻撃しています。もちろん70歳以上の人が罹ると、もっと深刻です。しかし、だれもがそのウィルスに感染する可能性があります。そして、それが示しているのは、あの小さな小さなミクロのウィルスが、自分は何でも知っていると思っている人間に、本当は何も知らないことを、いかに自覚させ、すべてを知っておられる方を礼拝することが、私たちにはどれほど必要であるかを理解させているのです。そして、それで私たちの立場と神との関係のすべてを再調整します。つまり、自分が神のような存在だと思っていた人は、残念ですが、あなたは神ではない。あなたは、この治療法すら分からない。だから、私が目にする良いものは、たくさん、たくさんあります。そして繰り返しますが、以前の世界が戻って来ると思っているのなら、もう二度と戻って来ないと、私は思います。そして、それは良いことです。といっても、私は…。ほら、私は旅がしたいです。皆さんは旅をしたい、私たちは一緒に旅を試してみことばを教えたいです。おそらく9月以降、旅をするでしょう。しかし、世界は間違いなく変わっています。

バリー牧師: ええ。それにしても面白いのが、ファウシ博士が今日、「獣のしるし」のようなものを持ち出して、言っていました。「予防接種の証明書が何かがあるとよいかも知れない」予防接種を受けたかどうか、回復したかどうかとか、そういったことの証明書。ですから、つまり人類の監視の進歩は…。過去には陰謀論者の陣営にあったものが今は主流であり、だれも否定できません。そして、ビル・ゲイツが話したことで、いわば秘密が漏れ、だれが予防接種を受け、だれが受けていないか、ワクチンはいつ届くのかなどを確認する必要がある、と。そして、ワクチン^{きょうかく}接種の方法や量子チップなどの話を聞いています。いま起きてくることのすべてを見ていると、ただただ驚愕します。これが終わったとしても、グローバリズムの大義を推進したい人たちは、自分たちのアジェンダを推し進めようとしています。今、起こったことが二度と起こらないようにするために。だから我々は、世界中の未登録でデジタルで足跡を残さない人たちは、難民も含めて、デジタルで登録して、監視できるように今後も努力を続ける。そういう話を聞いていますから、そうですね。同意します。今後、物事は異なり、急速に変化していくでしょう。でもアミール、今後のことについて、いくつか考えを聞かせてください。変わっていないことが1つあります。ゼカリヤ書12章3節には、イスラエル、特にユダヤ人とエルサレムに対する憎しみが、終わりの日に起こることが書かれています。ここ数日で分かったのは、ゴラン高原のヒズボラの存在、シリア側ですが、そして、そこからまた何が起こるかという、IDFから、かなり興味深い映像が出ていました。

アミール: そう、その通りです。

バリー牧師: そして、そのセクションが私は面白いと思ったのです。ですから、少しその話をしてくださいませんか？

アミール: ええ、イランが狂ったようにコロナウィルスにやられているので、おかしいのですが、私たちが実際に信じているのは、中国のウソが報告数の100倍だとすれば、イランのウソは報告数の50倍。だから中国やイランは、アメリカやヨーロッパよりも、はるかに多くの犠牲者を出しています。しかし私が言えるのは、だからと言って、彼らの残忍な計画や考えは、一秒たりとも止まることはありません。そしてイスラエルが、ここ48時間で監視しているのは、イランが支援する民兵に代わり、シリアのゴランにいるヒズボラの大きな動きでインフラを作り続け、それは最終的に我々に対して使われます。イスラエルは…。私と一緒にベンタル山に行ったことはありますか？

バリー牧師: はい。

アミール: ベンタル山は火山の一部で、他の部分はアビタル山です。そこにはイスラエルの諜報機関の軍事施設があり、そして、そこからアサドと家族の靴下の色を見ることが出来る優れた装置があります。それが、私たちが話している解決策です。我々はシリア・ゴランの外で行われた会議に参加していた役員全員を、どうにか見ることができました。なんとか一人一人の顔を識別することができました。私たちは、彼らの名前を知っています。そして、イスラエルのIDFの報道官が異例の形で動画を公開して、言いました。

「我々は、あなた方を監視しており、必要であれば行動する」これがヒズボラやシリア、誰であれ、そこで活動している者に伝える方法です。「おい、おまえら、『イスラエルは警告しなかった』と言うなよ」と。そして通常我々がそれを言う時は、行動する前の最後通告です。そして、驚くことにシリアとイラクの国境でも同じことが起きています。おもしろい写真を見たのですが、これが、かなり驚きで、ときどき理解しがたくなるのですが、とにかく、ロシア人、イラン人、イラク人、シリア人の将校が一堂に会している写真です。そして、これらの人々が、基本的に一堂に会している写真をお見せします。私が言っていることが分かるでしょう。これは注目に値しますよ。彼らのすぐ後ろに、それぞれの国旗が見えます。見ると良いのですが、ご覧ください。これが、その写真です。旗を見てください。



ロシアとイランとシリアとイラクの国旗が見えますか？皆でケーキを切っているのです。ちなみに、彼らの正体は分かっています。私は彼らを知っています。將軍たちをひとり残らず知っています。そして、彼らは今、一緒にあなたがたに対して陰謀を企てています。イラクから出国しているアメリカ軍に対して。あなたがたは、すでにいくつかの主要な拠点を撤退しましたね？そして今、あなたがたはイラク側からシリア側、ユーフラテス川の東側に渡っています。そしてイラクからシリアに全軍を移動させる場所にも、彼らは目をつけていました。ほら、信じられません。何千人も死ぬことがあるのに、彼らは陰謀を止めません。彼らにとっては、いつものことです。さっきあなたが言ったとおり、それが今では「新しい日常」です。ロシアもイランも一緒に、そこに欠けているのはトルコの国旗です。それが無いのは、トルコ人が利口で、最近イラン人の隣に行かないからです。そうでないと、ウィルスに感染してしまうから。

バリー牧師: ああ、ISISも隔離されないのは興味深いですね。彼らは最近、活発ですね。ちょうど先週も、彼らの活動が見られました。

アミール: その通りです。ISISは現在、装備されていて、繰り返しますが、ISISはもはや領土を持っていません。領土に関しては、イスラム国そのものではありません。しかし、テロ組織の小集団はまだ存在していて、基本的にはゲリラみたいなもので、彼らは砂漠に隠れるのを好みます。彼らは攻撃し、そして退いて、隠れます。そして、どうやら彼らは素敵な無人機を手に入れたようです。そして、それら数台の無人機は、数日前にT-4基地（シリア）を攻撃し、そしてロシアの戦闘機3機、スホーイ22s（地上攻撃機）、スホーイ24（戦闘爆撃機）を破壊しました。しかし、それがなかなか興味深いのです。ロシア軍は、そこまで手こ

ずるとは思っておらず、今ごろは、すでにシリア復興を手に行っているかと思っていたのです。世界銀行や国連、その他との大口契約をエンジョイしているはずで、将来的には、シリアの富をごっそり手にするつもりでした。しかし彼らがしているのは流血だけです。それだけでは不十分だとしたら、バリー、原油価格の暴落についても話したいでしょう。

バリー牧師: 次はそこに行きましょう。はい。これはCOVID-19「家にいよう」キャンペーンの一種の面白い副作用のようですね。航空業界がどうなっているかは、だれもが、よく知っていることだと思います。でも、というか…、私はちょっとしたショックを受けた時期がありました。木曜日に「ヒズ・チャンネル」をするために車で出かけた時、前の土曜日以来、久々に車に乗ったのですが、それに、そんなに長く家に閉じこもっているのは本当に珍しいことで、それが、だれも車にガソリンを入れていないのです。ですから、今、原油を見ていると、基準のブレント原油が、まだ30ドル台後半で推移していると思います。しかし、一般的には、他の産地の原油は西テキサスの原油や、すべての取引は、20~21ドル前後です。興味深いことに、産油国を代表するサウジと、アメリカの上院議員との間で、生産量を減らす、かなり不安な話がされています。それでいて、ロシアとサウジアラビアの間でも話があって、これは、とても意外な組み合わせです。しかし、それについては多くの懸念があります。いくつかの国々では、主要な生産国の一部と比較して、地中から採掘して、市場に出荷するためのコストがはるかに低く、そのことが興味深いことに、北から全軍隊を出陣させるための、「あごの鉤」（エゼキエル38章4節）となるプロセスの一部になるでしょう。

アミール: 説明しますと、この原油の状況が少し複雑で、これはサウジ王室内でのお家騒動に関係しています。知られていませんが、今年の3月初め、ヨーロッパや中国で起こっていることの最中に、実はサウジアラビアは、別のことで忙しかったのです。クーデター未遂があって、その理由、経緯を説明しましょう。サウジの創始者が国を始めた時、彼は基本的に、サウジの全部族の女性たちと結婚しました。そして、この女性たちは皆、彼の子どもを産み、今は孫が生まれています。そして、その合意は、王の称号は年齢に応じて移動するというもので、だれの子であるかは関係なく、基本的には生物学的な年齢で、次の者が受け取ります。そういう事なのです。ずっと、そうだったのです。もちろん、サルマンが王になるまでは。そして、はじめは2017年6月まで、彼は紳士的で、兄弟が皇太子になっても大丈夫でした。しかし、彼は兄弟を脇に除けて、息子を皇太子に任命したのです。それがサウジ王室の中庭での大規模な反乱の始まりで、その問題は、次の序列に並んでいたはずの兄の息子たちから出たもので、今のムハンマド・ビン・サルマン（MBS）のせいではありません。問題はまた原油価格が非常に低いことです。過去に彼らが持っていたお金は、あまりにも莫大で、その埋蔵金がGNPの50%を超えていたのです。それが、今は1%以下です。サウジの埋蔵金が枯渇してきて、ここでムハンマド・ビン・サルマンは行動を起こし、賭けをしなければならなかったのです。これはギャンブルです。そして彼は今、「自分は減産しない」と賭けています。「アメリカのシェールガスを、もはやそれを採掘するに値しない価格に下げるまで、しばらくは、私も苦しむだろう」つまり、継続させるためには最低でも1バレル30ドルは必要です。「今、自分が見ているアメリカの覇権を、いったん崩してしまえば、人々は、またサウジの石油に頼るようになるだろう。価格は値上がりする」つまり言い換えれば、未来のために今は苦しんでも良い、ということです。そして、これがまさに、いまの私たちが見ているものです。彼は原産に消極的で、価格は20ドルを下回るかも知れません。10ドルから18ドルまで、ずっと行くかも知れません。めっちゃくちゃです。ちなみにこのゲームが始まった時には、どちらにしても、コロナウィルスで石油の需要が下がるとは、だれひとりとして考慮に入れていませんでした。なぜなら、おっしゃる通り、あなたも私も運転しませんから。家にいます。だれも運転しないし、飛行機も飛んでいません。つまり、文字通りめっちゃくちゃなことが起こっているのです。需要が急落しています。だから、通常の戦争にコロナウィルスが加わって、現在、サウジアラビアにとって、まさに大惨事です。サウジは血を流して、それを利用するのは周辺一帯のイラン人とシーア派です。イラクにも、イランにも、イエメンにもシーア派がいて、ちなみにサウジアラビアの中にもシーア派がいて、そして、サウジアラビアの石油のほとんどは、シーア派がいる地域にあるのです。だからサウジアラビアは今、非常に非常に心配しています。そしてムハンマド・ビン・サルマン（MBS）には、相当のプレッシャーがかかっていることが分かります。

バリー牧師: テッド・クルーズが、サウジ大使と電話会議をした時のコメントを見て、私たちがこれから言

うことを聞けば、テキサスは明らかに石油原産地ですから、この逆は見たくないものです。なぜなら、ドナルド・トランプの下で、少なくとも一時期は世界最大の産油国でした。そして今、あなたが言っていたシェール生産への影響や他のことを見ていると、価格は下がり続けるでしょう。でもアミール、これについて興味をそそられることの1つは、エネルギー製品関連が国内総生産の60%を占める、もうひとりのプレーヤーがいます。ロシアです。1バレルあたり、10ドルや15ドルの価格に耐えられない、もうひとりのプレーヤーです。エゼキエルのシナリオの中で起こる、もうひとつの興味深い点です。ここには侵略に抗議するサウジがいて、この背後にある動機は何なのかと、疑問にさえ思います。明らかに金銭的なものです。なぜなら、彼らは戦利品や略奪の話をしていたのですから。そして、ロシアは何代にもわたってエネルギー製品を生産して、彼らの巨大な軍事モンスターに兵器を提供しなければなりません。これは世界的な状況です。単なる国家間の駆け引きではありません。

アミール: そうですね。ルーブルは暴落が続いています。そして、私が聞いた話では、この状況ではロシアは1年以上持ちません。そして、私が言いたいことは分かりますね？

バリー牧師: ええ、はい。

アミール: 彼らは動かなければなりません。

バリー牧師: 動かなければならないと。

アミール: そう、彼らは行動を起こさなければなりません。そして彼は、自分がシリアで困っていることを理解しています。シリアは金儲けではなくて、金の無駄遣いだからです。リビアでも同じです。そして、ロシアが何かをする唯一の方法は、どこかに侵攻することです。それで面白いのはイスラエルのアナリストで、彼らのほとんどが、聖書の預言に気づいていません。ですから、彼らが何を言っているかということ、「おそらく、プーチンがこの状況から抜け出す唯一の方法は、西のヨーロッパ諸国に向かって突破することだ」彼らがウクライナに侵攻した後、物価が上昇したことを指し示しています。だから、私は言っているのです。「いや、西の方に行くというのは、どうかな。南の方に行くのは確実だ。少なくとも私の聖書には、明確に書かれています」

バリー牧師: そうです。ヨーロッパの話をしていましたが、興味深いことに、これがEUにも影響を与えていて、我々がここ米国で見ている、これらの刺激的な状況が、他の国々でも話し合われているのです。あまり影響を受けていない国と、より影響を受けた国が、これにどう対処するか、EUの指導者の間で、かなり重い議論につながっています。欧州連合（EU）で生まれた、この「新しい日常」が話題になっていて、国々が離れて行き、すべてが解体されつつあります。他にもいろいろなことがあります、非常に興味深い可能性は、どうやら10カ国連合になるかもしれない、と。

アミール: その通りです。

バリー牧師: …大患難期間中は、いま、我々が見ているEUのような27カ国ではありません。

アミール: ええ、同意します。私は、ヨーロッパのすべての国が、コロナウィルスの状況の中であって、EUがどのように機能するのかを見ていて、そして彼らは、これが機能していないことを理解しています。彼らは、「国境のない」政策が、ウィルス拡散を早める原因になったことを理解しています。また、欧州銀行が、自身の加盟国よりも、ずっと素早くイランを支援していることにも同意しています。だからイタリア人やスペイン人、ベルギーやオランダなどの国では、今、多くの人がEUの旗を燃やしています。「こんなもの、何の役にも立たない。実際は我々の負担になっている。自分たちのことを大切にしないといけない」特にイタリアでは。私は何十本ものユーチューブ動画を見ましたが、文字通りイタリア人が、物理的にEUの国旗を燃やしているのです。それは、今のEUへの失望が、とてつもなく大きいからです。そして私は、あなたに賛成です。賛成です。聖書的に、コロナによって、つまり我々が見ようとしているのは、2つの超大国の崩壊です。我々が現在目撃しているのは、ヨーロッパがなんとかして新しい超大国、新しい世界的な主要プレーヤーを発明しなければなりません。そして、そこから…。繰り返しますが、私は、そこから反キリストが来

ると信じています。でも、面白いと思いませんか？世界中で神が働いておられるのを見ています。そして、認めざるを得ません。ヨーロッパの国々の信者でさえも、祈りに突き動かされています。しかし、ヨーロッパでは全体的に、あちらは非常に邪悪な政権です。だからこそ、私はヨーロッパの信者へ思いを寄せているのです。だから、私はできる限りヨーロッパに行くのです。個人的に、私にとって、とても身近な存在です。ただ、ヨーロッパの信者は、非常に小さな「レムナント（残りの者）」です。そして全体的に、その地域には信じられないほどの、世俗的で反キリスト的な霊が見られます。酷いものです。

バリー牧師： そうですね。世界的に増加していると予想されます。これはまた、世界の霊的、経済的な二極化をさらに強めていると思います。私が考えていたことの1つは、アミール、私たちが知っているように、大患難時代には過激な変化が起こります。基本的には小麦1クォート、つまり食パン一斤分くらいの量です。それが1日分の給料の値段になります。そして興味深いのは、「オリーブ油とぶどう酒に害を与えてはいけない」とも書いてあります。そこにも象徴的なものがありますが、しかし私が興味深いと思ったのは、私たちが目にしているのは、いわゆる金持ちと貧乏人の分離で、緊急を要さない職業の人たちは仕事に行ってはいけないと言われて、持つ者と持たざる者の間に、どんどん溝ができています。これは伝統的に、両者の間に不安をもたらしてきたものです。「1%の人たち」などというコメントを見たり聞いたりしていますが、興味深いことに、COVID-19によって、人々が貧困に陥る可能性のある状況に追い込まれているのを見ています。3100万人ものアメリカ人が失業したのですから、大変なことです。失業率は、1ヶ月ちょっとで、3%から30%になりました。

アミール： ここも同じです。

バリー牧師： ええ。そして、これら多くのことが起こるのを見て、これが最終的には、大患難の間の成就に到達するまでになるのでしょうか。

アミール： そうですね、バリー。繰り返しますが、たとえ明日の朝にCOVID-19が終わったとしても、世界は全く異なります。一夜にして30%の失業率を消すことはできませんから。あなたも私も知ってのとおり、旅行ビジネス、ホテル、接客業、急を要さないものはすべて、回復するのは最後です。それから、回復することすらできない産業が出て来るでしょう。だから、非常に試練の時に向かっています。同時に、人を落ち込ませたくありません。私は信者として、福音を伝えるには、最高の時であることを理解してもらいたいです。世界が、今ほど耳を傾ける準備ができていないと思います。つまり、繰り返しますが、回復しないかもしれない世界で、他のことに信頼を置くと失望するでしょう。しかし、もしあなたの心と情熱が、主を分かち合い、救いを求めることであれば、今が史上最高の時だと思います。断言できます。このようなことは、今まで見たことがありません。私は年を取りすぎてもおらず、若すぎることもなく、私は生涯で、一度もこのような世界を見たことがないと言えます。ほら、これは戦争でもありません。戦争でも、店は開いていました。しかし、これは閉鎖させたのです。ガザで戦争があっても、ロサンゼルスにいる人はコーヒーを飲みに行きます。シリアで戦争があっても、ドイツにいる人はコーヒーを飲みに行きます。いいですね？これは戦争ではありません。これは世界の8~9割の人を同時に襲っているのです。あなたと私は、地球という惑星の正反対の場所に住んでいるにも関わらず、同じものを共有しているのは、これが初めてです。同じことに見舞われている。同じCOVID-19、同じ自己隔離、同じように家にいる。外出時には、同じようにマスクを着用して、同じように10人以上の集会は禁止。すべて、これらの制限は、全く同じです。世界で、世界中で。そして、これは神が地球を一瞬停止させ、文字通りすべてを考え直すために地球を置いたようなものです。

バリー牧師： ええ。

アミール： 信者としては、今が一番いい時期、こんな時は二度とありません。見てください。世界中のすべてが静止した時代に生きる機会は、我々以外、だれにもありませんでした。それを見た世代はいません。ほら、だれも理解していないのは、以前ウィルスを経験したことがあるからです。SARSやMERS、豚インフルエンザを経験した話をしましたね。我々は、これまでに何度も経験してきましたが、そのどれひとつとして、世界を停止させたことはありません。それが、なぜこれがそうなるのか、我々は、まだ解明していません

ん。まだ理由が分かりません。でも、そうだったのです。そうだったのは事実です。それは、世界を静止させました。ですから、前代未聞のものを見ているのだから、その瞬間をつかむ必要があります。

バリー牧師: そうですね、アミール。あなたが言ったことは、とても重要だと思います。1) それは教会に、私たちがいかにいるのかを正確に露呈しましたから。現在、グローバル社会であることは疑う余地がなく、議論の余地がありません。今はまだ、単一の支配者、単一の統治形態ではないかもしれませんが、しかし、現在、グローバル社会であることに間違いありません。そして、少なくともその下で、初めて共時性（世界中が同じ状況に陥っていること）に直面しています。また、あなたや私、世界中の他の健全な聖書教師たちがしてきたことに、ある種の信頼を与えました。聖書が私たちに伝えている、終わりの日に関する情報で、信者を準備させ、失われて人々を救おうとすることです。教会の中には、聖書預言を疑うような目で見ている人もいたでしょうし、世界統一政府のシステムや統治形態を疑いの目で見ている人もいたでしょうが、もはや、それはできません。なぜなら、私たちは確かに世界がひとつになって、今回のことで、それが露呈しましたから。そして次のステップは、単一の世界支配者でしょう。アミール、もう時間も遅いし、これ以上引き留めたくはありませんが、参加してくれて感謝します。ですが、そのまえにもうひとつ。誰かが質問していたのを見たのですが、

Q: 「クリスチャンは御怒りにあう定めにはない、と聖書のどこに書いてありますか？」

明らかに第1テサロニケ5章9節が、すぐに思い浮かびます。

神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく…。 (第1テサロニケ5章9節)

それはまた、次回にお話ししましょう。イスラエル時間 午前5時、私にとっては月曜の夜7時。

アミール: いえ、火曜日の夜です。そちらで火曜日の夜、私にとっては水曜午前5時。

バリー牧師: ああ、そうですか。では、私にとっては火曜夜7時。(太平洋夏時間) イスラエルは午前5時。あなたと私はビホールド・イスラエルのページでライブQ&Aをします。

アミール: そうです。これは違う形になります。いつもは前もって質問を受けて、どれに答えるかを決めてから実行しますが、今回は皆さんから質問を生で受けて、その場で回答してゆきます。ですから、皆さん、ページを開いて我々と交流してください。

バリー牧師: はい。楽しみですね。最後にもう一つ、アミール、私がお祈りをするのです。あなたは、いつもしているように素晴らしいアロンの祝福で閉じてください。私が聖書的に興味深いと思うことのひとつは、アフリカを襲っているイナゴの災いです。そして、今はそれに対応できず、無力なため、かなり打撃を受けています。それも前代未聞のレベルです。本当に、イナゴの大襲来以上に聖書的なものはありません。

アミール: まったく、そのとおりです。そして、今はイランに大打撃を与えています。

バリー牧師: ええ、そうです。すごいことです。では、私が祈ります。そして最後に、アロンの祝福をお願いします。

父なる神様、私たちはあなたのみことばに、とても感謝しています。この人生に関して、私たちが知るべきこと、その中で敬虔でいる道を教えてください、ありがとうございます。物事の始まりだけではなく、その終わり、また終わり方を教えてください、感謝します。主よ、あなたとあなたの主権と知恵と全知が、その役者がだれで、地理的にどこに来るのか、そして、終わりの日には反ユダヤ主義が起こることを教えてくださいました。産みの苦しみのような世界の出来事の進行を見て、今が見上げる時だということが分かります。あなたはまもなく、あなたの教会を贖われ、私たちに栄光に満ち、朽ちない永遠のからだを与えてください。主よ、あなたが私たちに明らかにしてくださったことに感謝します。そして、この困難と痛みと

悲しみの時に、人々があなたに目を向けることができますように、と祈ります。過去のイスラエルのような時代に、あなたが天の神であり、あなたが主である事を彼らが知りますように。主よ。今日の時間に感謝します。アミールに感謝します。彼と彼の家族に祝福がありますように。そして、イスラエルとエルサレムの平和のために、あなたの祝福を祈ります。

アミール:

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/英語)

平和の君、イエシュア、イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

バリー牧師: アーメン。アーメン。

アミール: 1時間後、ちょうど午後10時に、私たちのビホールド・イスラエルのページで、復活の日曜日のスペシャル・メッセージをお送りします。

バリー牧師: 素晴らしいですね。
アミール: ありがとうございます。
バリー牧師: あなたと話ができて、顔を見られて良かったです。
アミール: ありがとうございます。
バリー牧師: 良い週末をお過ごしください。
アミール: 復活祭、おめでとうございます! さようなら。
バリー牧師: 神のご加護を!



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.05.31 (Sun)